

1 NPO法人 社会教育の拠点で1万人規模の地域と学校をまじり  
1万人井戸端会議  
Specified Nonprofit Corporation 10000people community meeting

# 全国公民館セミナー 資料

## 2021年1月20日

特定非営利活動法人1万人井戸端会議 代表理事  
那覇市繁多川公民館 館長

南 信乃介

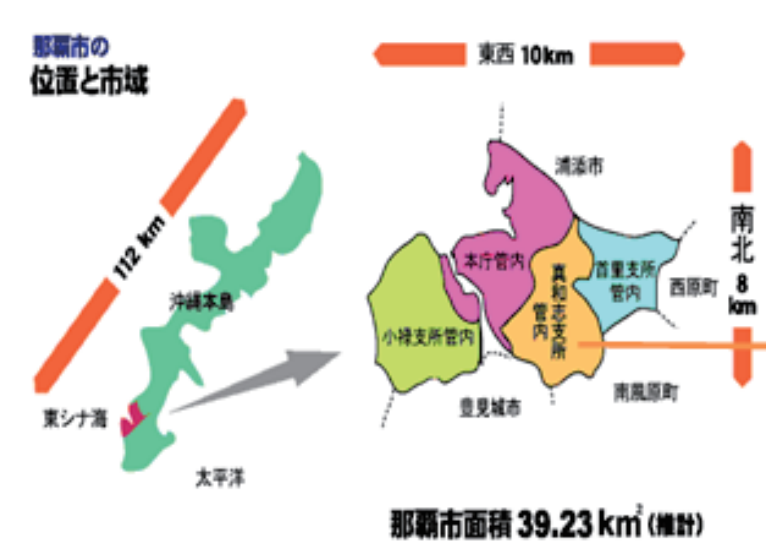
# 沖縄 那覇市

## NPO法人1万人井戸端会議

指定管理 那覇市繁多川公民館

当法人のミッション

すべての人々に対し、1万人規模(生活圈)で社会教育を通じた持続可能な地域社会の仕組みをつくり、その事例で社会に貢献する。



繁多川公民館

# コロナ禍での公民館運営 実際

## • 2回の休館

- 様々な支援活動、自治活動の停止
- 地域の方々は困りごと、不安を抱えている？
- 感染症内科医師 高山医師オンライン勉強会
- スマホ相談窓口開設 LINE登録、YouTube登録
- その地域に必要な情報をスピード感持って幅広い世代に届ける必要を感じた。





# コロナ禍での公民館運営 実際

## 公民館 × 包括支援センター

- オンライン動画  
ちむぐくるに乾杯

<https://www.youtube.com/watch?v=zwMh-6qpHMQ>ちむぐくるに乾杯 第1回 字指定文化財 - YouTube

### 地元深掘り「ちむぐくるに乾杯」

那覇市繁多川公民館と同市地域包括支援センター繁多川は7月から、地域の魅力を伝える番組「ちむぐくるに乾杯」を動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開している。プロデューサーを務める同公民館の西平博人さんは「人と人がつながりにくいコロナ禍の中で、動画を通して地域のぬくもりを感じてもらえたらいい」と話している。

公民館職員ら「ぬくもり感じて」

## 繁多川動画でつながぐ



繁多川公民館は感染拡大の休館期間中、マスクの作りの第一波を受けた4〜6月、り方や家庭で楽しめる遊

「ちむぐくるに乾杯」制作チームの後列左から時計回りに  
浜川尚志さん、西平博人さん、比嘉美矢子さん、永井幸恵さん、本多まどかさん、西平さん提供



び、運動不足解消法などを紹介する番組の号外を6回発行した。自宅でも地域とつながる動画の制作も企画した。公民館は8月3日から再び休館している。制作チームは公民館と地域包括支援センターの職員5人。ほぼ全員が動画制作は初めてだった。録音の失敗などを経験しながら手探りで作っている。タイトルは目標とするNHKの番組「鶴瓶の家族に乾杯」にちなんで付けた。7月14日に公開した第1回は繁多川の「字指定文化財」である職名馬場跡を訪ねた。字指定文化財は繁多川自治会が地域の史跡などを独自文化財として指定している。この取り組みを始めた当時、自治会長だった波平元雅さんとリポーターが楽しく紹介した。27日に公開した第2回では繁多川の老舗園芸店で働く人々を紹介した。

「ちむぐくるに乾杯」の第1回で職名馬場跡を訪ねるレポートからユーチューブより  
(伊佐尚記)

# コロナ禍での公民館運営 実際

- 利用者の感染疑い  
サークル活動中、体調不良で救急搬送  
来館時は無症状。搬送時は味覚症状がなかったと聞き...

その時何が起こったのか？

# コロナ禍での公民館運営 実際

- アンケート(利用者聞き取り、包括支援センター) 、いつもの公民館の大きな役割

付き合いのある人の顔が見れないのが寂しい

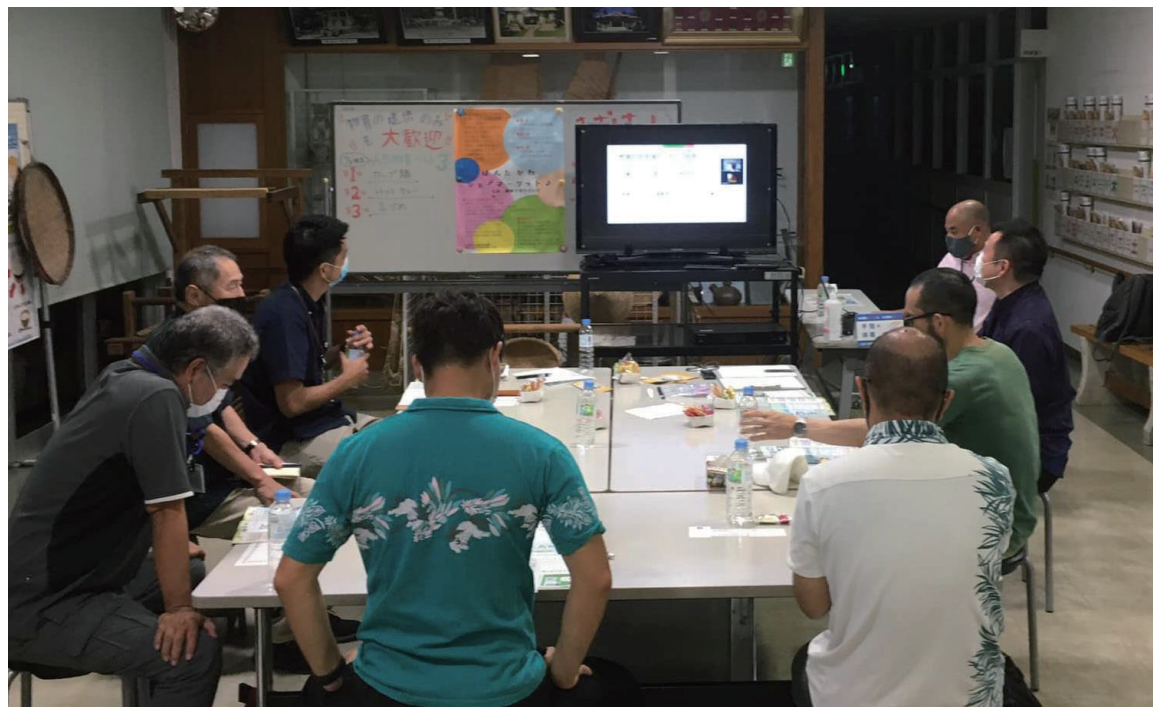
⇒人と人との顔を合わすことの意義

体を動かすサークルが無くなったのはしんどかった

⇒みんなとだから続けられる運動、健康づくり

# 公民館に求められていると感じる事

- 若者の力を真ん中に(働き盛り若手アクションチーム作り)
- 「公民館があるから私たちは元気でいられる」  
不安を人のつながりで安心に変える社会教育(普段のつながりが生きる)
- 公民館でコロナ感染者は完全には防げない。陽性者発覚からの対応が重要。
- 公民館を利用していない人の孤立を防ぐ取組、ネットワーク





# エジプトの公民館

- 国際交流基金を活用し現地交流2018
- 日本型教育の海外展開推進事業EDU-PortJapan公認プロジェクト2019-2020

## ギドさんの挑戦

[https://www.youtube.com/watch?v=sw0n37ZEu](https://www.youtube.com/watch?v=sw0n37ZEuBw)

Bw



# エジプトの公民館

20201208琉球新報

第3種郵便物認可

王充 王求 奈斤 率因

## エジプト公民館、始動へ

### 繁多川公民館プロジェクト サークル、起業支援

那覇市の繁多川公民館を運営するNPO「1万人井戸端会議」のプロジエクトでエジプトに整備した公民館が、12月末のオープンを目指して活発に活動している。10月にソフトオープン（プレオープン）して、公民館運営メンバー周辺の人々を対象に、サークル活動や起業支援に取り組んでいる。本格的にオープンした後は、より多くの人々に公民館を利用してもらう予定だ。

### 人つなぎ、両国の架け橋に

繁多川公民館の講座で公民館の役割を学んだカイト・ルミキードさん（通称ギド）さん（40が、1万人井戸端会議と共にプロジェクトに取り組んでいる。文部科学省の「日本型教育の海外展開推進事業パイロット事



日本語翻訳者育成サークルの参加者＝カイト・ギザのター公民館（ギドさん提供）

業委託費を活用している。今春のオープンを目指していたが、エジプトでの新型コロナウイルス感染症拡大で遅れた。公民館はカイロ・ギザ地区の物件を借りて整備した。名前は「ター公民館」。「ター」はアラビア語で「学び」「協力」「つなぐ」を意味する単語の頭文字だという。

公民館は大学などで日本語を学んだ人、教員、保護者ら約15人のボランティアメンバーで運営する。ソフトオープン後は、各メンバーが自身のワークショップなどを開きながら運営課題の発見と解決、公民館の周知に努めている。

エジプトと日本の架け橋となる日本語・アラビア語の翻訳者を育成するサークルも始まり、約15人が参加している。ター公民館は若者の起業支援にも取り組むのが特徴で、助言に加え、資金の1割を出資している。これまでにカイロの文具を地方に売るプロジェクトなどを支援した。

ギドさんは「エジプトのNGOは寄付を集めてサーブिसを与えるが、私たちは（公民館を利用する）それぞれの方がプロデューサーとして活躍することを目指している」と説明。「相手を尊敬して協力し合うという文化をター公民館から周囲に広げたい」と話した。

（伊佐尚記）

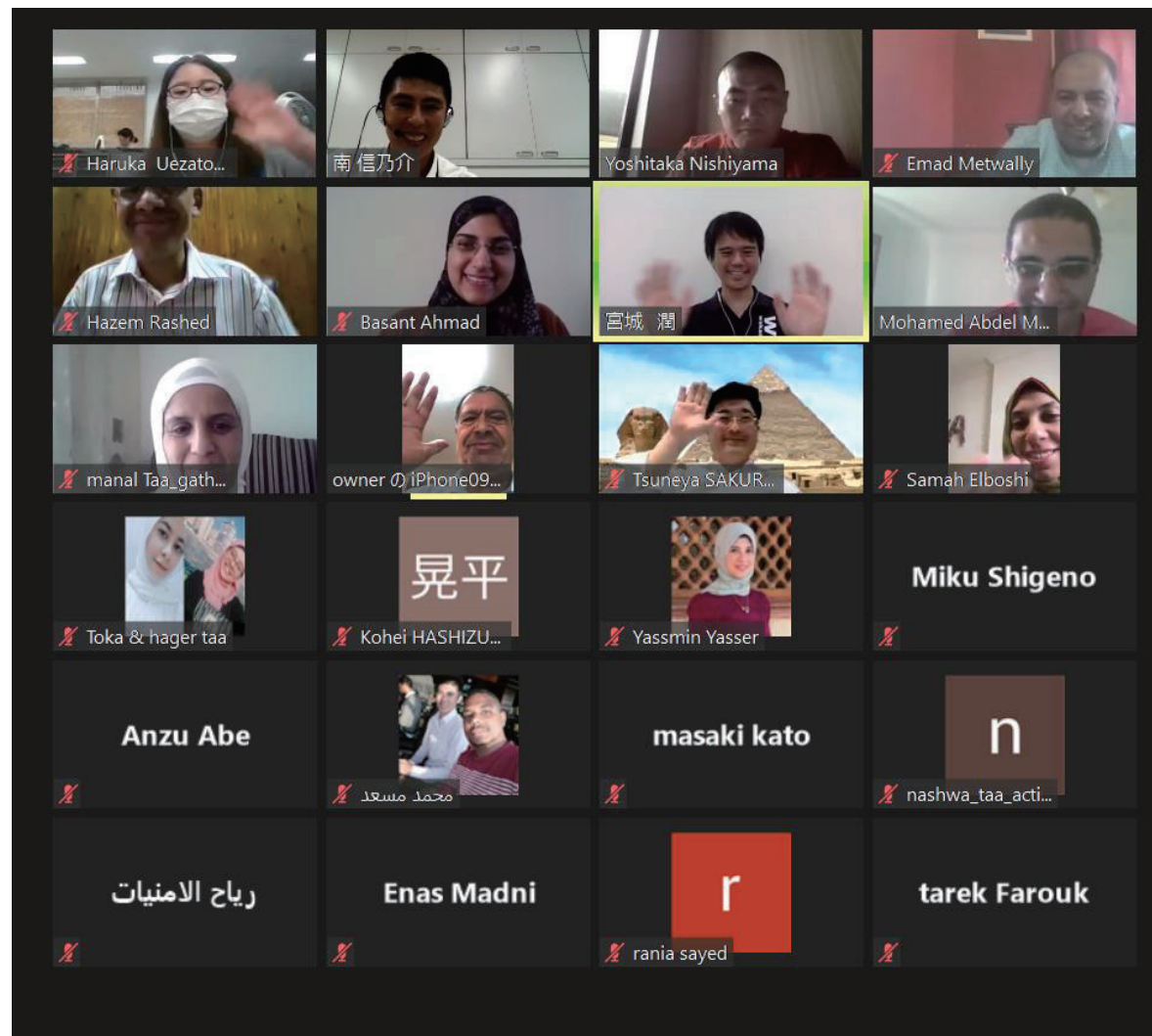
併つ生那会く

# エジプトの公民館

2020年度  
オンライン講座14回

運営メンバーが3チー  
ムに分かれ講座企画

通訳サークル活動もス  
タート





# エジプトとのやりとりから学ぶこと

- 公民館の原点を共に学びながら地域振興に  
純粹であった公民館を再認識
- 「公民館で未来を切り拓いている」と信じる心
- 公民館の実現力(実社会での暮らし、仕事への  
影響力)
- グローバル社会を生きているのにもっと身近  
にグローバルな学びや交流を
- 思いやりを育み、道徳観を養う家庭・地域が  
協力し格差を埋め、地域を切り拓く

# 一緒に公民館の未来を考え 実践してみませんか

- Webサイト 公民館のしあさって

<http://kominkan.world/>



- 書籍「公民館のしあさって」鋭意編集・執筆中

- エジプトの公民館メンバーが日本に来ます。キャラバンで全国を回ります。受け入れ公民館を募集中。

- [那覇市繁多川公民館 \(hantagawa-kominkan.com\)](http://hantagawa-kominkan.com)